

学校給食

1 基本方針

学校給食センターにおける衛生管理の徹底と施設設備の適切な維持管理により安全安心な学校給食の提供を目指すとともに、学校給食の充実及び学校給食を生きた教材として活用した食育の推進に努めます。

2 基本施策

(1) 安全安心な学校給食に向けての施策

- ア 安全安心な学校給食を提供するため、国が定める学校給食衛生管理基準に基づき、調理業務等の衛生管理を徹底していきます。
- 学校給食センターの円滑な運営と安定した施設管理
 - 調理関係職員及び配膳職員等の保菌検査の実施
 - 調理設備の衛生検査の実施
 - センター内研修における衛生管理の改善指導等の実施
 - 食材の細菌検査の実施
 - 学校内の配膳室の訪問指導の実施
- イ 年間1校当たり183回実施する学校給食をはじめ、様々な教育活動等を通じて食育を計画的に進めるとともに、保護者や市民等への啓発を行います。
- ホームページに毎日の給食メニュー、レシピや生産者のインタビュー動画を掲載
 - 栄養教諭等と連携した食や健康に関する指導の展開
 - 児童・生徒による献立作りや調理体験等の実践的な活動の展開
 - 給食の食材を選ぶ物資選定会への教職員や保護者代表の参加
 - 調理員の学校訪問の実施
 - 市民試食会や家庭教育学級での食育や学校給食の啓発
 - 食育の日や学校給食週間等での学校給食の啓発
 - 市や学校が開催する行事での学校給食の啓発
- ウ 食物アレルギーを有する児童生徒が他の児童生徒と同様に給食を安全においしく食べられるようアレルギー対応食を提供します。
- 6品目（卵・乳・えび・かに・いか・たこ）の除去食を提供
 - 食物アレルギー対応マニュアル及び対応食システムの確実な運用
 - 学校給食アレルギー対応検討委員会の開催
 - 保護者・学校教職員・給食センター職員による面談の実施
- エ 国の第4次食育推進基本計画や第3次島田市食育推進計画等を踏まえ、次に掲げる数値目標の達成を目指します。
- 島田市産農産物使用割合金額ベース56.2% 重量ベース40%

○給食残食率6.5%以下

オ 地産地消推進事業は、現在の水準を維持しつつ、安全安心な食材の確保や生産者の顔の見える学校給食の提供を行っていきます。

○島田市産農産物利用割合の向上に向けた献立の検討及び実施

○学校の校内放送や掲示物による地場産物や生産者の紹介等の実施

○生産者の学校訪問やDVD放映による農業や栽培方法の学習機会の創出

カ 学校給食センターの調理用備品等の更新を計画的に進めます。

キ 職員の資質の向上に関する事業について、学校給食事業に関連する法令や基準を研修する機会を設け、技能や知識の習得を図ります。

○調理員研修会の開催

○学校給食関係職員等の合同研修会の開催

○栄養教諭・学校栄養職員、栄養士、調理員連絡会の開催

○外部研修会への積極的参加

ク 学校給食費の未納について、各学校と連携して、適切な納付の相談・指導を行い、未納の解消に努めます。

ケ 学校給食への民間活力の導入を図り、学校給食センターにおける運営の合理化を推進します。

○事務事業評価シート of 目標数値

区 分		単 位	令和5年度 目 標	令和4年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	ホームページ更新日数	日	200	197
	アレルギー対応食に関する説明	回	60	73
	研修会の開催・参加	回	11	9
	学校給食試食会	回	13	9
事業の成果 (アウトカム)	ホームページ閲覧数	件	17,000	20,309
	アレルギー除去食を正確に調理・提供する割合	%	100	100
	島田市産農産物使用割合金額ベース	%	56.2	51.9
	残食率	%	6.50	6.94

【令和5年度目標達成プラン】

- ・学校給食のメニューに島田産のお茶を使った献立を毎月取り入れたり、お茶について食に関する指導を実施したりするなど、お茶に親しみを持つ機会を設け、「島田市緑茶化計画」を推進していきます。

- ・「地場産物を使った料理+具たくさん島田汁」を組み合わせた献立を「おしまちゃんランチ」と名づけ、毎月1回提供し地産地消を推進していきます。

3 令和5年度 学校給食の内容

(1) 学校給食の概要

区分	実施校数	年間実施回数	学校給食費		
			徴収月額	徴収回数	1人1食当たり単価
小学校	17校	183回	4,558円	11回	274円
中学校	6校		5,440円		327円

(2) 食事内容

品目	内容・回数等
パン	食パン、ロールパン、りんごパン、玄米パン、メロンパン等 週1回程度
米飯	米飯、炊き込みご飯等 週3.5回程度 クラス別方式23校
めん類	ソフトめん、中華めん等 月2回程度
牛乳	毎日1本(200cc)
副食	文部科学省が示す栄養基準量を確保するための食糧構成による献立

(3) 地産地消推進状況(令和4年度実績)

項目	使用割合(単位:%)			主な使用地場産物
	重量	品目	金額	
目標数値	40	40	56.2	白米、しいたけ、アスパラガス、枝豆
島田産	41.26	35.71	51.95	ブロッコリー、茶、小松菜、葉ねぎ
志太榛原産 (島田産含む)	48.75	44.64	56.79	キャベツ、レタス、チンゲン菜

(4) アレルギー対応食の提供

令和5年度対象者 39人

対象食材 鶏卵(うずら卵含む)、乳、えび、かに、いか、たこ

(5) 学校給食費(令和5年度)

i) 小学校給食費

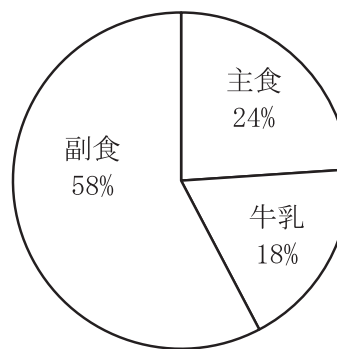
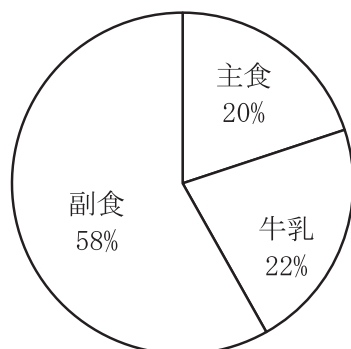
1人1食当たり食材費 **274円**

内訳	}	主食	55円
		牛乳	60円
		副食	159円

ii) 中学校給食費

1人1食当たり食材費 **327円**

内訳	}	主食	78円
		牛乳	60円
		副食	189円



4 施設概要

(令和5年5月1日現在)

		中部学校給食センター	南部学校給食センター
所在地		島田市落合64番地の11	島田市阪本1337番地
施設	敷地	5,459㎡	1891.57㎡
	建物	鉄骨造一部2階建 2,915㎡	鉄骨造一部2階建 1,024㎡
開設年月日		H27.4.1 調理開始 東・西・北部調理場、 金谷給食センターを統合	H7.4.1 調理開始 H15.4.1 六合小、六合東小 東部より移管
給食実施人員		4,782人	2,515人
担当学校		島一小、島二小、島三小、島四小、大津小 伊太小、相賀小、神座小、伊久美小、島五小 金谷小、五和小、川根小 島一中、島二中、金谷中、川根中	六合小、六合東小、初倉小 初倉南小 六合中、初倉中
給食センター関係職員	所長	1人(学校給食課長兼務)	1人(学校給食課長兼務)
	栄養士(県職員)	2人	2人
	運転手	(委託)	(委託)
	調理員	13人(28人)	(委託)
	事務局	4人(1人)	(1人)
	計	20人(29人)	3人(1人)

※()は会計年度任用職員外数

5 施設利用状況(完全給食)

(令和5年5月1日現在)

名称	区分	開設年月日	給食実施人員	名称	区分	開設年月日	給食実施人員
島田第一小学校	昭23.2.16	ミルク給食	559人	島田第一中学校	昭38.10.21	ミルク給食	542人
	昭26.2.16	完全給食			平15.4.1	完全給食	
島田第二小学校	昭23.2.12	ミルク給食	319人	島田第二中学校	昭38.10.21	ミルク給食	529人
	昭26.2.12	完全給食			平15.4.1	完全給食	
島田第三小学校	昭23.2.12	ミルク給食	262人	金谷中学校	昭46.9	完全給食	455人
	昭25.2.10	完全給食		川根中学校	昭45.11	完全給食	64人
島田第四小学校	昭22.2.12	ミルク給食	445人	小計		4,782人	
	昭26.2.12	完全給食		六合小学校	昭33.7.1	ミルク給食	609人
大津小学校	昭30.9.1	ミルク給食	178人		昭45.9.1	完全給食	
	昭37.9.6	完全給食		初倉小学校	昭39.4.16	完全給食	410人
伊太小学校	昭41.4.1	完全給食	48人	初倉南小学校	昭58.4.1	完全給食	293人
相賀小学校	昭41.4.1	完全給食	30人	六合東小学校	昭60.4.1	完全給食	398人
神座小学校	昭41.4.1	完全給食	52人	六合中学校	平7.4.1	完全給食	470人
伊久美小学校	昭41.4.1	完全給食	30人	初倉中学校	平7.4.1	完全給食	335人
島田第五小学校	昭54.4.1	完全給食	290人	小計		2,515人	
金谷小学校	昭35.5	完全給食	539人	合計		7,297人	
五和小学校	昭44.9	完全給食	303人				
川根小学校	昭45.11	完全給食	137人				

※給食実施人員は児童生徒の人数

社会教育

1 基本方針

市民一人ひとりが、生涯を通じて、学びによって自己実現を図り、地域社会で活躍できるよう、地域の人たちと連携・協働し、各自のライフステージに応じた多種多様な学習の機会を提供するとともに、学びの成果を社会活動に役立てることのできる環境の整備を進めます。

特に、コロナ禍によりデジタル情報化が加速されてきたことから、情報格差を解消し知識を習得するための機会の提供を強化します。

少子高齢化や高度情報化社会の進展により、家庭や地域社会を巡る課題は多様化、複雑化しています。このような社会の中で、青少年が心身ともに健全に成長し、社会の一員として自立し活躍できるよう、家庭や地域における教育力を高めていくとともに、青少年が地域活動に積極的に参加できるよう働きかけていきます。

2 基本施策

(1) 生涯学習の推進

ア 第2次生涯学習推進大綱に基づく生涯学習施策の推進

平成31年3月に策定された第2次生涯学習推進大綱の理念の普及を目指します。特に、幅広い年齢層の市民への学習の広がり重視して、各事業や各活動の後継者育成や若年層の参加の促進を図ります。

さらに、デジタル情報化に対応できるスキルを持つ講師等の育成を図ります。

イ 公民館・公民館類似施設の運営と活動の推進

地域住民の学びへのきっかけづくりを目的として市民学級や社会教育講座等を開講し、地域への愛着や誇りを高める生涯学習推進の拠点として、地域文化の振興を図ります。島田市と業務提携している明治安田生命保険相互会社と公益社団法人全国公民館連合会とが共同で活動を展開する「地元の「公民館」元気プロジェクト～MY定期講座」を利用し、健康・老化予防・防災等の興味を抱かせる講座を4館で8講座開催しました。

また、老朽化により修繕が必要な箇所については、計画的な予算執行による修繕を実施し、各施設の安全性の維持と管理を行います。さらに、六合・初倉の2公民館に係長級の正規職員をセンター長として配置し、公民館業務の機能強化を図るとともに、地域における市民協働推進の拠点としての役割を担っていきます。

さらに、旧金谷庁舎跡地の「金谷地区生活交流拠点整備運営事業」の一環として、令和5年4月から金谷公民館へ指定管理制度を導入し、新たに建設する金谷支所等の新施設や公民館周辺の既存施設との一体的な管理運営を推し進めることにより、地域のつながりやネットワークが深まり、金谷地区がさらに活性化することを目指します。

ウ 東海道金谷宿大学事業の運営

東海道金谷宿大学は、『教えたいたい人（教授）』と『学びたい人（学生）』の両者に活動の場を提供する生涯学習事業であり、令和4年度は83講座（予定）を開講し、事業を進めます。

年間講座・短期講座の新規の開設及び新規学生の獲得とともに、教授の高齢化に伴う後継者育成は

大きな課題となっています。これを改善するため、学生が現教授の講座を引き継ぐ方法など後継者の育成や発掘について引き続き検討していきます。

エ しまだ楽習センターの運営

一層の運営効率化とサービス向上を目指し、平成30年度から指定管理者として「静岡ビル保善株式会社」が管理運営を行っています。

専門性を活かした自主講座の開催等による市民目線でのサービス向上、及び新型コロナウイルスへの適切な対応により、市民の生涯学習活性化に寄与するよう要請・指導に努めます。

オ 野外活動センター山の家の運営

令和5年度から「西東石油株式会社」が、指定管理者として管理運営を行い、自主イベントの開催やスポーツと文化合宿のPRなど工夫をこらした運営を行っています。

引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、野外レクリエーション活動施設として、コロナ禍における強みを活かした運営に努めていきます。

カ 山村都市交流センターささまの運営

平成22年度から指定管理者である地元団体の「企業組合くれば」が管理運営を行っており、体験メニューなどの自主事業や積極的なPR活動を実施しています。

引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、青少年の健全育成や文化芸術団体等の活動施設、都市と山村の交流施設、地域活性化の拠点施設としての役割を果たしていきます。

○事務事業評価シートの目標数値

区 分		単 位	令和5年度 目 標	令和4年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	公民館等講座開催回数	回	740	824
	金谷宿大学開催講座数	講座	87	83
	しまだ楽習センター講座回数	回	1,100	1,069
	公民館等修繕工事費	千円	10,791	66,048
	山の家修繕工事費	千円	10,977	2,269
	ささま修繕工事費	千円	7,790	10,012
事業の成果 (アウトカム)	公民館等講座参加延人数	人	10,300	10,570
	公民館等利用者数	人	158,600	148,777
	金谷宿大学講座学生数	人	890	875
	しまだ楽習センター講座参加延人数	人	11,000	12,018
	しまだ楽習センター利用者数	人	30,000	13,733
	山の家宿泊者数	人	3,500	4,596

	ささま宿泊者数	人	2,000	1,486
--	---------	---	-------	-------

【令和5年度目標達成プラン】

- ・第2次生涯学習推進大綱（平成31年3月策定）の考えの周知とともに、生涯学習の一層の充実を図るため、後継者育成や若者の参加、並びにデジタル教育を積極的に推進します。

(2) 青少年の健全育成

ア 家庭教育の充実

家庭教育については、社会教育委員からの提言（「家庭教育の在り方」）を基に、子育てを通じて親が自ら学ぶ場や地域で支える場を充実させるとともに、その理念を具現化するために啓発広報活動を引き続き推進していきます。

子供の「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う「家庭の教育力」の向上を図るため、「初めて0歳児を持つ親の講座」、「幼児・児童を持つ親の講座」、「小・中学生を持つ親の講座」など各年齢層に応じた講座や家庭教育講演会を開催します。また、親同士のつながりを大切に、学びあう機会とするため、小学校での家庭教育学級の開設や翌年度に新1年生を持つ親を対象とした親学講座を開催します。このほか、健康づくり課や子育て応援課などと連携し、子育ての悩みや不安を抱える親に対する支援を実施していきます。

「子育て広場」については、引き続きペアレントサポーターが、子育ての不安や悩みについて相談に応じます。また、ペアレントサポーターが独自に開催している自主講座について、支援していきます。

また、中学生と赤ちゃん親子の異世代交流として「中学生赤ちゃんふれあい体験講座」を開催し、命や家族の大切さを学ぶとともに、赤ちゃんを抱っこするという体験を通して将来自分の子供を育てたいという気持ちを育みます。

イ 子供の読書活動の推進

島田市子ども読書活動推進計画（第四次）に基づき、家庭や地域における子供の読書活動の推進を図るため、各家庭教育学級へ読み聞かせ学習会を提案したり、親学講座の中で親子一緒に本に親しむことの大切さを引き続き伝えていきます。また、地域での読み聞かせ活動を促進するため、読み聞かせボランティアが公民館等で親子ふれあいの場や親同士の交流の場を設けることを支援するとともに、ボランティア同士の交流や育成を進めていきます。

ウ 青少年育成支援センターの運営

「地域の子供は、地域で見守り育てる」施策を進めるため、育成補導委員による補導活動及び育成活動を推進するとともに、各小学校で実施している「子どもをまもる110番の家」の設置支援を行っていきます。補導活動については実施回数を見直すとともに、インターネット上に潜む危険から子供を守るため、市内の小中学校に在籍する児童生徒を対象としてネットパトロールを実施します。

また、青少年健全育成に功労のあった者及び団体を表彰し、その功績を称えることで、地域社会全体で青少年の健全育成を推進する意識をさらに高めていきます。

併せて、青少年相談窓口を開設し、子供・若者やその関係者の悩みを受けとめ、必要な支援につなげます。

エ 子ども・若者プランの推進

関係機関との情報共有や連携を図り、第2期島田市子ども・若者育成支援計画「しまだ大井川子ども・若者プラン」を推進します。

オ 子ども・若者支援地域協議会の運営

島田市子ども・若者支援地域協議会の実務者による情報交換会を定期的で開催するとともに、関係

各課で協力をして、LINEを活用した各相談窓口の周知を強化します。また、要保護児童対策地域協議会などと連携を図り、課題のある子供・若者に対する支援につなげます。加えて、子供・若者に係る様々な課題に対する地域社会の理解を深めるため講演会を開催するとともに、不登校やひきこもりなどに悩む子供・若者の家族に対する「みなと島田カフェ」を開催します。

カ 青少年育成事業の推進

日常生活の中で関係性が薄れつつある地域社会や自然とのふれあいの中で、異年齢で構成された集団活動を通じて、青少年の自主性や連帯性、社会性などを培うとともに、郷土への愛着心を醸成し「地域に貢献できる人づくり」を継続的に推進していきます。

- ・少年育成教室「しまだガンバ！」
- ・青少年リーダー養成講座「はばたけリーダー！2023」
- ・青年ボランティア講座
- ・体験寺子屋事業
- ・子ども会連合会への支援

キ 学校・家庭・地域の連携による教育支援事業

○放課後子供教室の開催

放課後における様々な体験機会を提供する安全・安心な居場所づくりを進めると同時に、心豊かでたくましい子供を地域全体で育むため、地域住民の協力を得る中で、岡田公会堂での活動を継続し実施していきます。また、放課後児童クラブや湯日の子ども達を見守る会との事業連携も推進していきます。

○地域学校協働本部事業

学校への必要な支援を地域住民の参画により実現するために、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を市内全小・中学校に配置し、地域と学校が連携・協働して様々な活動を実施し、コミュニティ・スクールとの一体的な推進を図ります。

また、学習支援「しまだはつくら寺子屋事業」については、初倉小学校、初倉南小学校、初倉中学校の児童・生徒を対象に実施します。

ク はたちの集いの開催

はたちになった若者が一堂に会し、社会人としての責務や自覚を促し、郷土愛を育み、今後の島田市を担う意識付けを行うため、集う式典を開催します。

○事務事業評価シートの目標数値

区 分		単 位	令和5年度 目 標	令和4年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	家庭教育講座の参加実人数	人	1,419	1,444
	家庭教育学級の学級生数	人	809	833
	初めて0歳児を持つ親の講座申込者数	人	90	75
	子育て広場の開催回数	回	15	12
	ネットパトロール実施校数	校	23	6

	困難を有する子供・若者とその保護者に向けた家族教室、座談会、合同相談会の回数	回	6	7
	少年教室「しまだガンバ！」実施回数	回	7	7
	放課後子供教室実施回数	回	21	22
	地域学校協働活動推進員人数	人	23	23
事業の成果 (アウトカム)	家庭教育講座の定員に対する申込者数の割合	%	95	126
	家庭教育学級の参加率	%	65	54
	初めて0歳児を持つ親の講座で「とても満足」の回答割合	%	95	96
	子育て広場の参加延べ人数	人	600	495
	ネットパトロール調査件数	件	500	372
	青少年相談の新規受付件数	件	25	27
	中学生になった時に、青少年リーダーとして活動に参加したいと回答した児童の割合	%	60	-
	放課後子供教室に参加して「とてもよかった」と回答した参加者の割合	%	70	68
	地域学校協働本部事業等ボランティア活動延人数	人	2,900	2,864

【令和5年度目標達成プラン】

- ・子育て学習推進事業について、講座の内容を見直し、参加者数の増加を図ります。
- ・地域学校協働本部を市内全小・中学校に設置し、それに伴い、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を市内全小中学校に配置します。
- ・学校ネットパトロールの調査対象を小中学生に拡大し、実施します。
- ・困難を有する子供・若者の育成支援として、県共催の合同相談会や、みなと島田カフェ（家族教室）、ゆったり座談会、講演会を充実させて実施します。

3 施設概要

施設名	所在地	設置年月日	施設内容
六合公民館	道悦五丁目13番3号	S32. 10. 1 (移転新築) H21. 4. 1	鉄骨造2階 延床面積 1,299.61㎡
初倉公民館	阪本1336番地の1	S42. 7. 1 (移転新築) H21. 10. 1	鉄骨造2階 延床面積 1,882.81㎡ (初倉児童センター等を含む)
金谷公民館	金谷代官町3400番地	H17. 3. 19	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階 延床面積 2,829.98㎡(金谷図書館を含む) 令和5年4月1日から指定管理者制度を導入(指定管理者:金谷PFIパートナーズ)
大津農村環境改善センター	尾川1番地	S63. 2. 1	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋 延床面積 995㎡
伊久身農村環境改善センター	伊久美3300番地	S59. 10. 15	鉄筋コンクリート造平屋 延床面積 559㎡
北部ふれあいセンター	神座397番地の1	H9. 4. 1	鉄筋コンクリート造2階 延床面積 730.40㎡
初倉西部ふれあいセンター	湯日3779番地	H12. 4. 1	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造平屋 延床面積 500㎡
川根地区センター	川根町家山396番地の1	S57. 4. 1 (移管) H22. 4. 1	鉄筋コンクリート造2階 延床面積 875㎡
しまだ楽習センター	栄町4番の19	H12. 4. 1 (移転) H21. 4. 1	鉄筋コンクリート造9階 (内地上2～6階部分使用) 専用部面積 1,354.30㎡
野外活動センター「山の家」			
	センターハウス	身成48番地の3	S59. 6. 6
	宿泊棟	身成103番地の1	(管理研修棟) S62 5. 1 (宿泊棟) S62. 10. 1
山村都市交流センター「ささま」	川根町笹間上394番地	H21. 4. 1	鉄筋コンクリート造2階 延床面積 1,109.09㎡ 音楽室 72.42㎡、体育館 448.03㎡ 運動場 6,067㎡

4 施設利用状況（令和4年度）

(1) 公民館・公民館類似施設

施設名	利用状況		講座開催状況	
	利用件数（件）	利用者数（人）	回数（回）	人数（人）
六合公民館	2,635	38,378	249	3,477
初倉公民館	1,871	33,130	146	2,298
金谷公民館	2,446	28,099	154	1,570
大津農村環境改善センター	740	9,908	117	1,221
伊久身農村環境改善センター	141	1,360	18	218
北部ふれあいセンター	442	6,647	73	836
初倉西部ふれあいセンター	707	8,751	22	226
川根地区センター	1,432	22,504	45	724
しまだ楽習センター	1,833	13,733	1,226	12,018

(2) 野外活動センター「山の家」、山村都市交流センター「ささま」

施設名	宿泊総数		施設利用総数	
	件数（件）	人数（人）	件数（件）	人数（人）
野外活動センター「山の家」	921	4,596	4,530	33,025
山村都市交流センター「ささま」	220	1,486	331	5,373

5 事業実績（令和4年度）

(1) 東海道金谷宿大学

生涯を通じて教える喜び、学ぶ喜びを味わい、生きがいを持って生きることを実践するため、「教えたい人(教授)」と「学びたい人(学生)」の両者に活動の場を提供した。

【実施状況】

募集講座数（件）	開講講座数（件）	教授数（人）	学生数（人）
87	83	56	875

(実施講座) 歴史、短歌、俳句、水墨画、英会話、園芸、フラワーアレンジメント、アクセサリー、絵画、書道、写真、生け花、茶道、香道、着物着付け、演歌、琴、ピアノ、体操、太極拳、ヨガ、親子遊び など

(2) 生涯学習大会フェスタしまだ2023！

生涯学習の推進を図ることを目的に、市民が団体やグループで学習した成果や活動内容を発表する場を提供する機会として、毎年度末に「生涯学習大会フェスタしまだ」を開催している。

令和4年度はステージ・展示部門の発表及びフリーマーケットやバルーンの配布を行った。令和5年3月4日（土）、3月5日（日）の2日間にわたり開催した。

会 場 島田市民総合施設プラザおおるり

来場者 約1,000人

実施内容 ステージ発表、展示発表、フリーマーケット、地場産品マーケット、バルーン配布
生涯学習の発表をした人の数約200人

令和5年度は令和6年3月2日（土）、3月3日（日）の開催を予定している。

(3) 青少年健全育成事業

ア 少年育成教室「しまだガンバ！」

次代を担う子供たちが、集団活動を通して心身ともに健やかでたくましく成長するよう、野外活動を中心として7回の活動を実施した。初回の仲間づくりレクリエーションで団結を深め、山の家デイキャンプ、竹を使ったクラフトなどを実施した。

(対象：小学校4年生～6年生、参加児童29人)

イ 通学合宿推進事業

子供たちに共同生活の機会を設定することで、お互いの立場を理解し、協力し合う心を育むとともに、地域住民の「地域の子供は地域で見守り育てる」意識を醸成することを目的に、地域の支援体制等が整う6つの小学校区において例年実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は大津小学校区のみでの実施となった。

ウ 島田市青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な事項の調査審議等を所掌するため、地方青少年問題協議会法に基づき設置した協議会で、令和4年度は所掌協議事案がなかったため開催しなかった。

エ 島田市子ども・若者支援地域協議会

社会生活を円滑に営む上で困難を有する子供・若者に対して、関係機関等が効果的かつ円滑な支援を行うため、関係機関の情報交換や自殺対策とゲートキーパーについての研修等を実施した。

【実施状況】

(単位：人)

	内 容	参加人数
研修会（講演会）	オンライン開催：令和4年10月15日 講師：静岡大学教育学部教授 小林朋子氏 演題：「子どものレジリエンスを育てるには」 参加対象：一般、教育関係、幼児教育、人権擁護委員、 民生・児童委員、保護司、就労関係機関等	57
不登校・ひきこもり 家族教室	家族向け講座「みなと島田カフェ」 年4回開催（8/19、9/28、11/18、1/19） 講師：NPO法人サンフォレスト 代表 三森重則氏（3回） 島田年金事務所職員（1回）	37
	支援者向け講座 年2回開催（8/19、11/18） 講師：NPO法人サンフォレスト 代表 三森重則氏	16
	ゆったり座談会：年2回開催（10/27、12/14）	1
代表者会議	年1回開催（9/27） 第2期島田市子ども・若者育成支援計画の推移状況について 子ども・若者支援の活動について	9
実務者会議	年3回開催（6/24、10/6、2/2） 庁内関係担当者や外部関係機関との情報交換、課題検討、ミニ 研修など	38

※研修会（講演会）の参加人数は、視聴申込人数を記載した。

※不登校・ひきこもり家族教室の家族向け講座「みなと島田カフェ」及び支援者向け講座は、福祉課との共催で実施した。

オ はばたけリーダー！2022

静岡県青少年指導者「初級」及び「中級」の認定事業として、青少年リーダーとしての資質や専門的な能力を高めようとする中・高校生を対象に5月21日から11月12日まで、計8回実施した。

【実施状況】 (単位：人)

		受講者の内訳
受講者数	14	中学生12、高校生2
うち中級修了者数	4	
うち初級認定者数	9	

カ 青年ボランティア講座

地域の中でボランティア活動を展開しようとする青年に、知識や技能を習得するための実践的な研修の場を提供するため、子供達との稲作体験や少年育成教室「しまだガンバ！」に参加した。

【実施状況】 (単位：人)

開催期間	活動内容	参加人数
令和4年5月21日から 令和5年3月5日まで	・少年育成教室「しまだガンバ！」 ・田植え ・収穫祭	5

キ はたちの集いの開催

これからの人生を自分の力で生き抜こうとする青年を祝い励ますことで、ふるさと島田市の良さを再認識し市民意識の醸成を図る。

また、友人と一堂に会し人生を振り返るとともに、これからの将来を鼓舞しあう機会を設ける。

令和4年度は島田工業生の協力を得て式典の様子を動画で生配信した。

令和4年度から名称を「はたちの集い」とした。

令和5年度は島田市総合スポーツセンター（ローズアリーナ）にて、令和6年1月7日に実施予定。

【実施状況】 (単位：人・%)

対象者数	出席者数	出席率
1,018	741	72.8

○期 日 令和5年1月8日（日）

○会 場 島田市総合スポーツセンター（ローズアリーナ）

○内 容 式典

アトラクション 三味線演奏（大塚 ^{はれるや}晴也 津軽三味線集団「べべん」）
歌唱（Lydia シンガーソングライター）

○対象者 平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた住民登録者及び転出者で島田市のはたちの集いに参加を希望する人

(4) 青少年育成支援センター

青少年の保護・育成に係る機関及び団体が連携して青少年の育成活動、補導活動及び相談を総合的かつ効果的に推進するために設置したもので、自治会や青少年育成団体等から推薦を受け委嘱した青少年育成補導委員で青少年育成支援センター運営協議会を構成する。街頭補導、地域の青少年声掛け運動、青少年育成支援センター運営協議会表彰式の開催など青少年健全育成を推進する事業や、子どもをまもる110番の家設置支援を実施した。

ア 街頭補導

夜間の街頭や催事などを巡回し、声掛け等の補導活動を行い、非行の未然防止に努めた。

【実施状況】

実施回数 (回)	活動延人数 (人)	補導件数 (声かけ) (件)
68回	282人	52件

イ 青少年相談 (電話相談等)

ひきこもりやニートなど困難を抱える子供・若者やその家族に対し、必要なアドバイスや支援機関との連携を図ることで、課題解決に向けた相談事業を実施した。(専任相談員1人)

【実施状況】

(単位:人)

新規相談者数	27
延べ利用人数	234 (内訳:電話 98、メール 16、来所 81、訪問 37、その他 2)

ウ 地域の青少年声掛け運動

地域の青少年に対し周りの大人が積極的に関わることにより、青少年の健やかな成長を支援しようと静岡県が展開する運動で、島田市では全市的取り組みとして「しまだ大井川あいさつの風プロジェクト」を駅前や小中学校などで実施を検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

エ 子どもをまもる110番の家

子供に危険が迫った際、助けを求めて飛び込める場所を確保するため、地域の協力を得て小学校・PTA・青少年育成補導委員が連携して、子供が確実に逃げ込める110番の家の設置を推進した。

【設置状況】

(単位:箇所)

設置箇所数	2,270
-------	-------

(5) 青少年健全育成市民大会

市の将来を担う青少年の健全育成を推進することを目的として、「明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会」の「青少年健全育成の部」として計画をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたため、青少年育成支援センター運営協議会表彰式のみで開催とした。

【表彰内容】 日時 令和4年11月19日(土) 午後1時30分～

会場 島田市役所会議棟 大会議室

被表彰者 団体 2団体、個人 1人

(6) 放課後子供教室推進事業

放課後、子供たちが地域住民の見守りのもと自主的に活動する場を提供するもので、岡田公会堂において実施した。

【実施状況】

開設場所	開催期間	対象児童	活動内容	年間回数(回)	延参加人数(人)
岡田公会堂	5月25日～2月15日の水曜日16:00～17:20	初倉地区の小学校1年生～6年生	陶芸教室、和菓子教室、グラウンドゴルフ等の全体活動と、折り紙、トランプ、自主学習等の選択活動	22	439

(7) 地域学校協働本部事業

市内全小・中学校に地域学校協働活動推進員(コーディネーター)を1名以上配置し、コーディネ

ーターの調整により、学校や地域の実情に合った様々な活動を実施するなど、学校・家庭・地域が一体となり地域ぐるみで子供を育てる体制を構築した。

【実施状況】

学校	活動内容
島二小	学期末学習支援、水泳授業の監視及び泳法補助、家庭科ミシン授業サポート、ボランティア感謝の会開催、グラウンドのコースロープ補修・運動会片付け、1年生「季節と仲よし」補助、2年生「地域探検隊」補助・「野菜の植え方・育て方」補助、3年生「島田大祭」講話・大井神社見学、4年生「お年寄りとの交流」補助、6年生「戦争体験」講話・「外国人留学生交流学习」補助
島三小	PTA主催三小フェスタ協力、クラブ活動補助・掲示物作成、家庭科ミシン授業サポート、豆まき行事開催、放課後児童クラブクリスマス会協力、2年生「キャベツ苗植え」補助、4年生福祉授業講話、5年生「ウォークラリー」補助、6年生「じゃがいも作り」補助
島四小	学習支援、ケース会議
六合小	スポーツ大会・父兄奉仕作業補助、東光寺猿舞、六合小150周年記念誌資料収集クラブ活動・家庭科授業補助連絡調整、4年生「お年寄りとの交流会」補助
大津小	よろしくの会開催、読み聞かせ・図書整備、田植え体験（田植え・稲刈り）、クラブ活動補助、大津小150周年記念誌作成協力、ありがたいの会開催、「大津谷川の自然と環境を守ろう」ごみ拾い・川遊び等活動補助、1年生「昔の遊び」補助、2年生「城山を学ぼう」補助、3年生「新茶の手摘み」補助
伊太小	いたわり音頭指導、運動会補助、クラブ活動補助（折り紙・グラウンドゴルフ等）、3年生「梅ジャム作り」補助、4年生「総合的な学習」補助・「昔の遊び」補助、お正月飾りづくり
相賀小	子ども防犯見守り隊パトロール、郷土史跡集作成・史跡案内、大井川の瀬替えの歴史・大井川平成の大改修資料作成、田植え体験（稲刈り・脱穀）、1・2年生「沢で魚をさがそう」補助、読み聞かせ、しめ縄づくり・門松寄贈
神座小	神座検定作成、統合記念誌作成協力、交通安全に関する施設修理依頼、4年生防災授業補助、各種ボランティア活動（読み聞かせ、図書整理、クラブ活動）
伊久美小	伊久美検定作成、閉校関係実行委員会開催、閉校記念事業実行委員会開催・閉校記念誌資料整理、ウォークラリーコース整備
初倉小	図書整備、家庭科ミシン授業サポート、ボランティア活動掲示
島五小	書初め会補助、スクールサポーター事務補助、感謝の会連絡調整
初倉南小	田植え体験（稲刈り・もみすり）、読み聞かせ、クラブ活動補助、ボランティア活動掲示物作成、図書館ボランティア感謝の会開催、2年生「お店探検」補助、3年生お茶摘み体験・茶工場見学・消防署見学・レタス畑見学、4年生鍼灸師の職業講話・牧之原開墾講話、5年生自動車講話・家庭科調理実習・ミシン授業補助
六合東小	読み聞かせ・図書整備、ひまわりの種まき、田植え体験、子ども食堂実施
金谷小	読み聞かせ、家庭科ミシン授業サポート、ネットモラル関係補助、ボランティアへお礼メッセージ作成・送付、2年生「町探検」補助、6年生お茶関連授業補助
五和小	1年生「さつまいもほり」・「昔の遊び」補助、2年生「野菜の苗を植えよう」・「お店探検」補助、3年生「名人さんにインタビュー」補助・お茶摘み体験・茶工場見学、6年生「五和から未来へ」補助・志戸呂焼講話、ボランティア活動掲示物作成

川根小・中	小学校給食エプロン作成、合同広報誌作成、小学校花壇整備・校庭草取り、先生方を抜里の蛍スポットに案内、地域と防災連携
島一中	夏休み島一中寺子屋、職場体験、門松づくり補助、生徒個別支援、卒業式補助
島二中	二中しゃべり場、読み聞かせ
六合中	夏の学習支援、委員会活動・美術部活動補助、ボランティア委員会開催、花壇整備
初倉中	CSだより・初倉地区人材・素材紹介作成、職場体験、認知症講話、1年生「地域探訪」補助
金谷中	読み聞かせ、職場体験、課題探究、3年生「K・G・P」補助

※令和4年度ボランティア延べ人数 2,864人

(8) しまだはつくら寺子屋

家庭において、学習習慣が身につけていない子供たちが、主体的に学習に取り組む習慣を身につけることができるよう、地域の人材（教員OB、大学生等、地元住民）を活用して放課後等における学習支援を実施した。

【実施状況】 (単位：人)

寺子屋実施回数	22回	夏季4日	冬季2日
参加児童・生徒延人数	376	93	14
支援員活動延人数	221		

※夏季は小学生、冬季は中学生が対象

※令和4年度高校生支援員活動延人数 2人（上記に含まない）

(9) 子育て学習推進事業

ア 家庭教育学級事業

心身ともに健やかな子供の成長を育むため、保護者として必要な子供との関わり方や、子育ての悩みを相談し合える仲間づくりの場として家庭教育学級を開講した。

【実施状況】 (単位：人)

事業名	内容	学級生数
家庭教育学級 (市内17小学校)	「つながるシート」を活用したフリートーク、家庭読書、親子体操、読み聞かせ講座、食育講座、給食試食会等、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各学級実情に応じた内容で、できる範囲で実施した。	833
家庭教育講演会	令和4年7月3日（日）親子が笑顔になる言葉かけ 講師 Shizu さん（ASD発達支援アドバイザー） 発達障害の子とのかかわり方を、実際に我が子を育てていく中で得られたより良い方法をわかりやすくお伝えする講演会	240

イ 子育て講座等開講事業

子供の「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う親力の向上を図るため、子供の発達段階に応じた学習プログラムを実施した。

【実施状況】

事業名	内 容	回数 (回)	参加 延べ 人数 (人)
小・中学生を持つ親の講座	将来のため今から身につけたい金融知識や不登校の子供の関わり方の講座を実施し、子育ての不安や悩みの軽減を目指した。休日午前中に2回開催した。	2	52
幼児・児童を持つ親の講座	0歳から9歳の子を持つ親を対象に、アドラー心理学、自己肯定感の伸ばし方、スマホの使い方の講座、性教育やジェンダーに関する講座を開催。2日間の連続講座1回と単発講座4回を実施した。	5	179
初めて0歳児を持つ親の講座	0歳児を初めて育てている母親のための仲間づくり、親子の絆づくりを実施すると共に、少し先を見通した育児の基礎知識を学習した。	24	500
親子のふれあい講座	2歳～3歳児の親子を対象に、家庭でできる遊びや運動、簡単な工作等を通して親子でふれあい、家庭教育力の向上を目的とした講座を実施した。	1	72
中学生赤ちゃんふれあい体験講座	中学生を対象に誕生学の講座を開催。その後赤ちゃん親子と交流し、命の尊さや家族の大切さを学ぶ。	2	349

ウ ペアレントサポーター（家庭教育支援員）活用事業

核家族化や地縁的つながりの希薄化などを背景として、家庭教育の困難化や家庭の孤立化が指摘されるなど、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うことができるよう島田市ペアレントサポーターが親子の居場所づくりや家庭教育講座を開催した。

【実施状況】

事業名	内 容	回数 (回)	参加 延べ 人数 (人)
親学講座	小学新1年生の親を対象に、就学時健診や入学説明会で親学ノートを活用した講座を実施した。	17	777
子育て広場 「ぐう・ちょき・ぱあ」	子育て広場「ぐう・ちょき・ぱあ」を開設し、ペアレントサポーターが子育ての不安や悩みについて相談に応じた。	12	495
パパとママのための 絵本の広場	親子で読書に親しむきっかけづくりのために大人がじっくり絵本にふれあう講座を実施した。	2	19

エ 子ども読書活動推進事業

○おはなし会

親子で読書に親しむきっかけづくりのため、公民館等の図書コーナーを会場としてボランティアによる「おはなし会」を開催し、絵本の読み聞かせ等を行った。また、社会教育施設を利用した読み聞かせ団体の支援を行った。

【実施状況】

(単位：人)

実施団体	活動拠点	主な実施日	内 容	参加人数
えのころ	大津農村環境改善センター	第1水曜日 第3土曜日	読み聞かせ、エプロン・パネルシアター、わらべ歌等	870
おはなしのへや ねこバス	六合公民館	8/20	読み聞かせ	6
おはなしエプロン	初倉公民館	第3金曜日	読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、手遊び、工作等	123
しろやま読み聞かせ クラブ	初倉西部ふれあいセンター	4/13, 6/29, 7/6, 9/7, 10/26, 12/7, 1/20, 2/8	読み聞かせ、創作紙芝居、季節行事で高齢者との交流	291
さくらんぼ	金谷図書館	第2土曜日	読み聞かせ、手袋人形、パネルシアター、手遊び等	462
おはなしアラカルト	伊久身農村環境改善センター	7/28, 12/27	読み聞かせ、絵本の中のお菓子作り	17

○読み聞かせボランティア研修

静岡県立中央図書館の新刊サロンに参加し、新刊の傾向や内容について学びを深めた。

【実施状況】

(単位：人)

研 修	内 容	参加人数
子ども読書活動推進研修会(10月19日)	静岡県立中央図書館の新刊サロン出席及び子ども読書研究室見学	2